

# H30年度 館林市立第四小学校 第2回学校評価一覧表

No.1

第2回アンケートにご協力をいただき、ありがとうございます。第2回の結果は、前回と比較すると総じて厳しいものとなっておりますが、率直なご意見をいただいたことに感謝いたします。今後は、全職員が自らを振り返り、気を引き締めて日々の教育に取り組んでいきます。今後とも気になることやお気付きの点がありましたら、遠慮なく学校へお知らせください。

グラフ中の「当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計が、「具体的数値目標」に達していれば、「A」評価となっております。以下、10%刻みで、「B」「C」「D」としています。また、今回の評価に変化があった項目には上下の矢印が付いています。

羅針盤			学校の取組	評価	目標との比較	第2回達成度	前回達成度	改善策				
評価対象	評価項目	具体的数値項目						0%	20%	40%	60%	80%
I 保護者との連携	1 学校は、保護者への連絡をきめ細かく行っていますか。	①「学校や子どもの成長の様子が分かる」と答えている保護者が90%以上である。	・学校だよりや学年だより、週予定表を定期的に発行して、学校や学級の子どもの様子を保護者や地域へ発信する。 ・連絡帳や電話連絡等により保護者との連絡を密にするとともに、随時個人面談や家庭訪問を実施し、保護者との情報交換に努める。	B	-3.8%	86.2%	95.4%	35.4%	50.8%	13.8%	0.0%	<p>評価対象 I では、達成度が、①で9%、③で17%下がりました。特に、③では目標値に20%以上届かずD評価となっております。全職員で、しっかりと下記の改善策に取り組みます。</p> <p>①子どもたちの作文や写真を掲載するなど、各通信の内容を充実させ、子どもたちや学校の様子をより分かりやすく伝えていきます。</p> <p>③授業参観の「懇談会」や毎月の「学校相談日」で事前アンケートを行い、相談しやすい体制をつくりまします。また、お子さんの様子を積極的にお伝えしていきます。</p>
	2 学校は、保護者が学校を理解したり、協力したりしやすい環境をつくっていますか。	②「授業参観や保護者会に参加しやすい」と答えている保護者が90%以上である。	・親子参加型の授業参観を取り入れ、多くの保護者にとって、関心の高い教科等の授業を行う。 ・子ども全員が発表できる授業展開を設定する。	A	0.8%	90.8%	93.8%	33.8%	56.9%	9.2%	0.0%	
	3 学校は、学習や生活、進路などについて保護者の相談に応じていますか。	③「学校は連絡や相談がしやすい」と答えている保護者が90%以上である。	・家庭との連絡を密にし、良好な関係づくりに努める。 ・スクールカウンセラーの訪問日に「学校相談日」を設定し、相談体制を充実させる。	D	-20.8%	69.2%	86.2%	29.2%	40.0%	29.2%	0.0%	
II 確かな学力	4 学校は、「分かる授業」を提供していますか。	④「授業が分かる」と答えている子どもが80%以上である。  ⑤「教師は授業内容や指導方法を工夫するなど、授業改善に努めている」と答えている保護者が90%以上である。	・日々教材研究に努め、子どもにとって「分かる授業」を行う。 ・少人数指導やTTによる指導、習熟度別指導など指導形態や指導方法を工夫する。 ・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を充実させる。 ・学力向上コーディネーターを中心に、全国学力学習状況調査などの結果から本校の課題を明らかにし、効果的な指導を行う。	A	16.9%	96.9%	100.0%	72.3%	24.6%	3.1%	0.0%	<p>評価対象 II では、⑥に加え、新たに⑤⑦が新たにB評価となりました。⑤は、教師として最も重視している項目の一つですので、この結果は真摯に受け止めなければならぬと思っております。⑦は、家庭学習の時間を確保するために、まず一人一人の学習への取組状況を把握したいと思っております。改善策は、下記のとおりです。</p> <p>⑤職員研修を充実させ、授業改善を一層推進していきます。また、保護者の皆様には、いつでも授業を公開していますので、お気軽にお立ち寄りください。</p> <p>⑥⑦「家庭学習パワーアップ週間」を充実させ、「学力向上だより」で家庭学習の改善策をお知らせします。また、日々の宿題や自主学習について一人一人の取組状況を把握し、より丁寧に指導していきます。</p>
	5 子どもは、基礎・基本が定着していますか。	⑥「子どもに基礎・基本が身に付いている」と答えている保護者が90%以上である。	・「ステップアップタイム」において、補充学習や発展学習に取り組ませる。 ・朝行事で「読書」「音読」「作文」を行う。	B	-8.6%	81.4%	87.7%	16.3%	65.1%	16.3%	1.6%	
	6 子どもは、学習したり読書したりする習慣が身に付いていますか。	⑦ 家庭学習(宿題を含む)や読書(週平均して)1日あたり学年×10分(1,2年は30分以上)行っている子どもが90%以上である。	・毎日、自力解決できる宿題を出し、家庭学習の習慣を付けさせる。 ・「家庭学習カード」を利用し、計画的に取り組めるようにする。	B	-3.8%	86.2%	100.0%	72.3%	13.8%	10.8%	3.1%	
III 豊かな心	7 子どもは、すすんであいさつしたり、はっきり受け答えしたりすることができますか。	⑧ すすんであいさつができる子どもが90%以上である。  ⑨ 名前を呼ばれたら「はい」と返事ができる子どもが90%以上である。	・児童会による「全校あいさつ運動」や「あいさつ通り(ハイタッチのあいさつ運動)」を実施する。 ・あいさつの仕方(立ち止まる・帽子を取る・目を見て、元気な声を出しながら一礼をする)を、全学年で指導する。  ・学校生活の中で具体的な場面に即して「はい」という返事ができるように繰り返し指導する。 ・「返事の強化週間」を設定する。	A	8.5%	98.5%	100.0%	76.9%	21.5%	1.5%	0.0%	<p>評価対象 III「豊かな心」では、⑩⑪が「B」評価となりました。⑩「いじめの予防・解消」は、⑤「授業改善」と並び、最も大切にしている項目の一つですので、教員一人一人が自らの取組を振り返り、改善していきます。また、⑪「相手を考えた言動」は、目標には届きませんでしたが、これまでの取組の効果が表れていますので、引き続き「道徳」や「学級活動」を中心として、「人権教育」を充実させていきます。</p> <p>⑩子どもたち一人一人の様子を把握し、いじめのもととなるトラブルや発見したいじめは、全職員で対応し、「即日解決」を目指します。</p>
	8 子どもたちの間に、いじめのない温かな人間関係が育っていますか。	⑩「楽しく学校に通っている」と答えている子どもが90%以上である。	・学校生活の中で、一人一人が活躍できる場を意図的に作り、達成感、成就感を味わわせる。 ・道徳、学活を充実させ、より好ましい人間関係づくりに努め、あたたかいクラスの雰囲気をつくる。	A	3.8%	93.8%	100.0%	73.8%	20.0%	4.6%	1.5%	
		⑪「学校はいじめの発生予防に努め、いじめを解消している」と答えている保護者が90%以上である。	・日常の観察や「学校生活アンケート」を活用し、いじめの早期発見、早期対応に努める。 ・いじめは、校内で情報共有し、組織的・継続的に指導し、100%解消する。 ・児童運営委員が主体となって「いじめ防止スローガン」をまとめ、いじめ防止活動を行う。	B	-2.3%	87.7%	90.4%	21.5%	66.2%	10.8%	1.5%	

■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

# H30年度 館林市立第四小学校 第2回学校評価一覧表

No.2

グラフ中の「当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計が、「具体的数値目標」に達していれば、「A」評価となっています。以下、10%刻みで、「B」「C」「D」としています。また、今回の評価に変化があった項目には上下の矢印が付いています。

羅針盤			学校の取組	評価	目標との比較	第2回達成度	前回達成度	0% 20% 40% 60% 80% 100%	改善策																																																																													
評価対象	評価項目	具体的数値項目																																																																																				
III 豊かな心	8 子どもたちの間に、いじめのない温かな人間関係が育っていますか。	⑫「子どもは相手の立場や気持ちを考えた、親切的な言動がとれる」と答えている保護者が90%以上である。	・道徳や人権学習を中心に、全教育活動を通じて人権意識を高める指導を行う。 ・時と場に応じた正しい言葉づかいができるように指導する。 ・縦割り班活動(清掃班、登校班、給食)を行い、相手を思いやる心や態度を養う。	B	-3.8%	86.2%	81.5%		<p>⑫授業参観で「思いやり」に関する授業を公開し、親子で「思いやり」について考える時間がもてるようにするとともに、「道徳」や「学級活動」を中心として、より一層「人権教育」を充実させます。</p>																																																																													
	9 学校のきまりや約束を守って生活する生徒が育っていますか。	⑬ 忘れ物をしないように毎日道具をそろえられる子どもが90%以上である。	・使用する学用品の連絡を確実にし、学習道具をそろえるよう指導する。 ・教室のロッカーや机の中などを整理・整頓させる。	A	6.9%	96.9%	100.0%			IV 健康・体力	10 子どもたちは、規則正しい生活を送ることができていますか。	⑭「子どもは、十分な睡眠をとっている」と答えている保護者が90%以上である。	・睡眠と体の成長とを関連つけた授業を充実させる。 ・就寝や起床時刻、食事時間について見つめさせ、生活リズムに関する指導を行う。	B	-5.4%	84.6%	87.7%		<p>評価対象IVでは、⑭「睡眠時間の確保」が依然としてB評価となっています。今後は、「健康ステップアップ週間」を継続するとともに、メディアコントロールの指導を行います。</p> <p>⑭「健康ステップアップ週間」を学期ごとに行い、睡眠時間の大切さについて理解を深めるとともに、早寝早起きの習慣化を図ります。また、全学年で養護教諭によるメディアコントロール(テレビやスマホ、PC等の使い方)の指導を行います。</p>	⑮「子どもは、毎日朝食を食べている」と答えている保護者が90%以上である。	・食事と体の成長を関連つけた授業を充実させる。 ・栄養士による朝食の大切さを扱った栄養指導を実施する。	A	8.5%	98.5%	95.4%		11 学校は、日常的に運動に取り組めるよう、時間や場などの環境を整えていますか。	⑯ 体育の授業以外で週3日以上、からだを動かして遊んだり、運動したりしている子どもが80%以上である。	・陸上・持久走・なわとびの練習時間を、年間を通して計画的に20分休みや始業前に設定する。 ・鉄棒カード、縄跳び等のカードを用意し、自主的に練習ができるようにする。	A	13.8%	93.8%	100.0%		V 安全確保・施設設備	12 学校施設の安全管理を徹底していますか。	⑰「学校は、教室や校庭など、学校施設は安全に管理されている」と答えている保護者が90%以上である。	・毎月の安全点検を徹底し、不具合を発見した場合は、迅速に修繕する。	A	6.9%	96.9%	95.4%		<p>評価対象Vでは、全ての項目で目標を達成しましたが、⑳「通学路の安全確保」については、PTA、地域のボランティアとより連携を強め、情報共有に努めていきます。また、収集した情報から5年生が「安全マップ」を作成していますので、子どもたちへの指導に役立てていきます。</p>	13 学校の安全対策を徹底していますか。	⑱「学校は、地震や火災などの災害や不審者対応などを想定した訓練を実施し、防災・防犯教育に努めている」と答えている保護者が90%以上である。	・警察署、消防署と連携して、実際の事案や災害を想定した不審者対応、火災・地震の避難訓練を充実させる。	A	5.3%	95.3%	96.9%		⑲「学校は、交通安全教室を実施したり、安全な登校の仕方について指導し、安全教育に努めている」と答える保護者が90%以上である。	・警察署と連携して、参加体験型の交通安全教室を実施する。 ・学級活動において、安全な歩行の仕方について指導する。	A	8.4%	98.4%	98.5%				⑳「学校は、保護者・地域と連携して通学路の点検やパトロールを行い、通学路の安全確保に努めている」と答えている保護者が90%以上である。	・PTAと連携し、定期的に通学路点検を実施し、登下校時の安全確保に努める。	A	0.6%	90.6%	90.8%		VI 進路・生き方	14 児童が自らの将来について考える機会を設けていますか。	⑳ 子どもの将来の夢や希望について、学期に1回以上話し合っている保護者が80%以上である。	・総合や社会科、学級活動などを中心に、自分の将来や進路について考える活動を意図的に設定し、キャリア教育を充実させる。	B	-0.3%	79.7%	73.8%		<p>評価対象VIは、わずかに目標値に届きませんでした。取組の成果は現れていますので、これまでの取組を継続していきます。</p>	VII 教育資源の活用	15 地域の教育資源を有効に活用できるようにしていますか。	㉑「学校は、地域のの人たちと連携し、教育活動の充実を図っている」と答えている保護者の80%以上である。	・「コミュニティースクール」設置を生かして、家庭・地域と連携した学習活動や体験活動の充実を図る。	A	16.9%	96.9%	96.9%
IV 健康・体力	10 子どもたちは、規則正しい生活を送ることができていますか。	⑭「子どもは、十分な睡眠をとっている」と答えている保護者が90%以上である。	・睡眠と体の成長とを関連つけた授業を充実させる。 ・就寝や起床時刻、食事時間について見つめさせ、生活リズムに関する指導を行う。	B	-5.4%	84.6%	87.7%		<p>評価対象IVでは、⑭「睡眠時間の確保」が依然としてB評価となっています。今後は、「健康ステップアップ週間」を継続するとともに、メディアコントロールの指導を行います。</p> <p>⑭「健康ステップアップ週間」を学期ごとに行い、睡眠時間の大切さについて理解を深めるとともに、早寝早起きの習慣化を図ります。また、全学年で養護教諭によるメディアコントロール(テレビやスマホ、PC等の使い方)の指導を行います。</p>																																																																													
		⑮「子どもは、毎日朝食を食べている」と答えている保護者が90%以上である。	・食事と体の成長を関連つけた授業を充実させる。 ・栄養士による朝食の大切さを扱った栄養指導を実施する。	A	8.5%	98.5%	95.4%																																																																															
	11 学校は、日常的に運動に取り組めるよう、時間や場などの環境を整えていますか。	⑯ 体育の授業以外で週3日以上、からだを動かして遊んだり、運動したりしている子どもが80%以上である。	・陸上・持久走・なわとびの練習時間を、年間を通して計画的に20分休みや始業前に設定する。 ・鉄棒カード、縄跳び等のカードを用意し、自主的に練習ができるようにする。	A	13.8%	93.8%	100.0%			V 安全確保・施設設備	12 学校施設の安全管理を徹底していますか。	⑰「学校は、教室や校庭など、学校施設は安全に管理されている」と答えている保護者が90%以上である。	・毎月の安全点検を徹底し、不具合を発見した場合は、迅速に修繕する。	A	6.9%	96.9%	95.4%		<p>評価対象Vでは、全ての項目で目標を達成しましたが、⑳「通学路の安全確保」については、PTA、地域のボランティアとより連携を強め、情報共有に努めていきます。また、収集した情報から5年生が「安全マップ」を作成していますので、子どもたちへの指導に役立てていきます。</p>	13 学校の安全対策を徹底していますか。	⑱「学校は、地震や火災などの災害や不審者対応などを想定した訓練を実施し、防災・防犯教育に努めている」と答えている保護者が90%以上である。	・警察署、消防署と連携して、実際の事案や災害を想定した不審者対応、火災・地震の避難訓練を充実させる。	A	5.3%	95.3%	96.9%		⑲「学校は、交通安全教室を実施したり、安全な登校の仕方について指導し、安全教育に努めている」と答える保護者が90%以上である。	・警察署と連携して、参加体験型の交通安全教室を実施する。 ・学級活動において、安全な歩行の仕方について指導する。	A	8.4%	98.4%	98.5%				⑳「学校は、保護者・地域と連携して通学路の点検やパトロールを行い、通学路の安全確保に努めている」と答えている保護者が90%以上である。	・PTAと連携し、定期的に通学路点検を実施し、登下校時の安全確保に努める。	A	0.6%	90.6%	90.8%		VI 進路・生き方	14 児童が自らの将来について考える機会を設けていますか。	⑳ 子どもの将来の夢や希望について、学期に1回以上話し合っている保護者が80%以上である。	・総合や社会科、学級活動などを中心に、自分の将来や進路について考える活動を意図的に設定し、キャリア教育を充実させる。	B	-0.3%	79.7%	73.8%		<p>評価対象VIは、わずかに目標値に届きませんでした。取組の成果は現れていますので、これまでの取組を継続していきます。</p>	VII 教育資源の活用	15 地域の教育資源を有効に活用できるようにしていますか。	㉑「学校は、地域のの人たちと連携し、教育活動の充実を図っている」と答えている保護者の80%以上である。	・「コミュニティースクール」設置を生かして、家庭・地域と連携した学習活動や体験活動の充実を図る。	A	16.9%	96.9%	96.9%		<p>評価対象VIIでは、コミュニティースクールの活動へたくさんの方からご協力いただいていることから高い評価をいただいています。来年度も学習活動の充実に向けていきます。</p>																							
V 安全確保・施設設備	12 学校施設の安全管理を徹底していますか。	⑰「学校は、教室や校庭など、学校施設は安全に管理されている」と答えている保護者が90%以上である。	・毎月の安全点検を徹底し、不具合を発見した場合は、迅速に修繕する。	A	6.9%	96.9%	95.4%		<p>評価対象Vでは、全ての項目で目標を達成しましたが、⑳「通学路の安全確保」については、PTA、地域のボランティアとより連携を強め、情報共有に努めていきます。また、収集した情報から5年生が「安全マップ」を作成していますので、子どもたちへの指導に役立てていきます。</p>																																																																													
	13 学校の安全対策を徹底していますか。	⑱「学校は、地震や火災などの災害や不審者対応などを想定した訓練を実施し、防災・防犯教育に努めている」と答えている保護者が90%以上である。	・警察署、消防署と連携して、実際の事案や災害を想定した不審者対応、火災・地震の避難訓練を充実させる。	A	5.3%	95.3%	96.9%																																																																															
		⑲「学校は、交通安全教室を実施したり、安全な登校の仕方について指導し、安全教育に努めている」と答える保護者が90%以上である。	・警察署と連携して、参加体験型の交通安全教室を実施する。 ・学級活動において、安全な歩行の仕方について指導する。	A	8.4%	98.4%	98.5%																																																																															
		⑳「学校は、保護者・地域と連携して通学路の点検やパトロールを行い、通学路の安全確保に努めている」と答えている保護者が90%以上である。	・PTAと連携し、定期的に通学路点検を実施し、登下校時の安全確保に努める。	A	0.6%	90.6%	90.8%		VI 進路・生き方	14 児童が自らの将来について考える機会を設けていますか。	⑳ 子どもの将来の夢や希望について、学期に1回以上話し合っている保護者が80%以上である。	・総合や社会科、学級活動などを中心に、自分の将来や進路について考える活動を意図的に設定し、キャリア教育を充実させる。	B	-0.3%	79.7%	73.8%		<p>評価対象VIは、わずかに目標値に届きませんでした。取組の成果は現れていますので、これまでの取組を継続していきます。</p>	VII 教育資源の活用	15 地域の教育資源を有効に活用できるようにしていますか。	㉑「学校は、地域のの人たちと連携し、教育活動の充実を図っている」と答えている保護者の80%以上である。	・「コミュニティースクール」設置を生かして、家庭・地域と連携した学習活動や体験活動の充実を図る。	A	16.9%	96.9%	96.9%		<p>評価対象VIIでは、コミュニティースクールの活動へたくさんの方からご協力いただいていることから高い評価をいただいています。来年度も学習活動の充実に向けていきます。</p>																																																										
VI 進路・生き方	14 児童が自らの将来について考える機会を設けていますか。	⑳ 子どもの将来の夢や希望について、学期に1回以上話し合っている保護者が80%以上である。	・総合や社会科、学級活動などを中心に、自分の将来や進路について考える活動を意図的に設定し、キャリア教育を充実させる。	B	-0.3%	79.7%	73.8%		<p>評価対象VIは、わずかに目標値に届きませんでした。取組の成果は現れていますので、これまでの取組を継続していきます。</p>																																																																													
VII 教育資源の活用	15 地域の教育資源を有効に活用できるようにしていますか。	㉑「学校は、地域のの人たちと連携し、教育活動の充実を図っている」と答えている保護者の80%以上である。	・「コミュニティースクール」設置を生かして、家庭・地域と連携した学習活動や体験活動の充実を図る。	A	16.9%	96.9%	96.9%		<p>評価対象VIIでは、コミュニティースクールの活動へたくさんの方からご協力いただいていることから高い評価をいただいています。来年度も学習活動の充実に向けていきます。</p>																																																																													

\*「自由記述欄」への回答は、「四小だより」3月号に掲載いたします。

■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない